

科目名	フィジカルアセスメント			担当教員 (研究室番号)	白石葉子 (非常勤) 辻本雄大 (非常勤)	教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修年次	1年次後期	科目区分	共通科目 I	選択区分	選択	単位数(時間)	2(30)	授業形態	講義・演習	科目等履修生	可
科目目的	複雑な健康問題を持つ対象者に対して、適切な臨床看護判断を行うために必要な、フィジカルアセスメントの知識と技術を学ぶ。										
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。									
	関連するDP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。									
到達目標	1. 健康な状態からの逸脱の有無を判断するためのフィジカルアセスメントの方法を、説明することができる。 2. 基本的なフィジカルイグザミネーション技術を、対象者の安楽を保ちながら安全・正確に実施することができる。 3. フィジカルイグザミネーション技術を用いて収集した情報を生かし、適切な臨床判断を行うことができる。 4. 看護の各専門分野におけるフィジカルアセスメントの意義について説明することができる。										
成績評価方法(基準)	出席日数(2/3以上を必要とする) レポート(70点)と授業への参加度(30点)を合わせて総合的に評価する。										
教科書	小野田千枝子監修、実践!フィジカル・アセスメント-看護者としての基礎技術-第3版、金原出版、2008										
参考書等	リン S. ビックリー ピーター G. シラギ著 福井次矢 井部俊子 山内豊明監修、ベイツ診察法、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2015										
受講者へのメッセージ	授業では、毎回技術演習を行います。限られた時間の中で技術を修得するためには、主体的に事前学習を行う姿勢が重要です。										
備考	授業は1コマあるいは2コマ続きで実施する。詳細は初回の授業計画で知らせる。成績評価は、授業中の発表内容および、レポートから総合的に行うため、再試験は実施しない。										
回	学習項目			学習内容				主担当教員	授業方法		
1回	授業ガイダンス フィジカルアセスメント総論  フィジカルイグザミネーションで用いる用具の理解			本科目の学習方法について理解する。 看護実践におけるフィジカルアセスメントの意義やフィジカルアセスメントの概要について学ぶ。 フィジカルイグザミネーションで用いる診察用具の種類・使用方法の基礎について学ぶ。				白石	対面(講義)		
2回	フィジカルイグザミネーション技術  一般状態・外皮系のアセスメント			フィジカルイグザミネーションの基本技術(視診・触診・打診・聴診)を学ぶ。 一般状態・外皮系のアセスメントの目的・方法・留意点について学ぶ。				白石	対面(演習)		
3回	頭頸部のアセスメント			頭頸部のアセスメントの目的・方法・留意点について学ぶ。				白石	対面(演習)		
4回	眼・耳のアセスメント			眼・耳のアセスメントの目的・方法・留意点について学ぶ。				白石	対面(演習)		
5回	心臓・血管系のアセスメント  第6~8回オリエンテーション			心臓・血管系のアセスメントの目的・方法・留意点について学ぶ。 第6回~8回の学習目的・方法を理解する。				白石	対面(演習)		
6回	消化器系のフィジカルアセスメント(アセスメントの基礎)			主体的な学習により、消化器系のアセスメントを行うために必要な基礎的な知識について学ぶ。				白石	対面(演習)		
7回	消化器系のフィジカルアセスメント(アセスメントの技法)			主体的な学習により、消化器系のアセスメントを行うために必要な基礎的な診査技法について学ぶ。				白石	対面(演習)		
8回	生活行動を支援するための総合的なフィジカルアセスメント(臨床的な判断)			身体機能の低下あるいは障がいがある対象者のシミュレーションモデルを用いて、臨床看護判断を行う。				白石	対面(演習)		
9回	筋・骨格系のアセスメント			筋・骨格系のアセスメントの目的・方法・留意点について学ぶ。				白石	対面(演習)		
10回	神経系のアセスメント			神経系のアセスメントの目的・方法・留意点について学ぶ。				白石	対面(演習)		
11回	乳房・腋窩・生殖器のアセスメント 第12~13回オリエンテーション			乳房・腋窩・生殖器のアセスメントの目的・方法・留意点について学ぶ。 第12回~14回の学習目的・方法を理解する				白石	対面(演習)		
12回	呼吸器系のフィジカルアセスメント(アセスメントの基礎)			主体的な学習により、呼吸器系のアセスメントを行うために必要な基礎的な知識について学ぶ。				白石	対面(演習)		
13回	呼吸器系のフィジカルアセスメント(アセスメントの技法) 第14~15回オリエンテーション			主体的な学習により、呼吸器系のアセスメントを行うために必要な基礎的な知識について学ぶ。				白石	対面(演習)		
14回	生命維持を支援するための総合的なフィジカルアセスメント(総合的なフィジカルアセスメントのための知識・技術)			生命維持を支援することが必要な対象者に対して、総合的な臨床看護判断を行うための知識および、技術を学ぶ。				辻本	対面(演習)		
15回	生命維持を支援するための総合的なフィジカルアセスメント(臨床的な判断)			生命維持を支援することが必要な対象者のシミュレーションモデルを用いて、臨床看護判断を行う。				辻本	対面(演習)		